

# リベルタ新聞

一期一会

6月14日、施設エントラ  
スにて新茶の会を開きました。  
茶会前に会場を彩るフラワー  
アレンジメントをおこないまし  
た。屋外のテラスで煎茶・生菓子  
を堪能しました。新茶を好む  
「練り切りの甘きを好む  
新茶かな」



昔とつた杵柄

6月22日、IADL訓練(調  
理)を行ないました。講師をお招き  
し、各々のオリジナルのフルーツ  
サンドを作りました。季節のフル  
ーツは全8種類もあり、包丁さ  
ばきも皆さんお手の物。



## 究極の「食」

7月7日、例年器に  
盛られた「そうめん」  
を提供していただきました。  
が、今年は「白」のそ  
うめんを皆さんで争  
奪。葉味のネギ・生姜  
は、基本です。生薑  
は、基本です。生薑  
も、基本です。生薑  
も、基本です。生薑



## 定期連載 俊さんのコラム

「後悔先に立たず」

富士町のお祭り、甲子神社祭典が毎年、八月五日に行なわれる。  
祭りが近くなると母の事が思い出され、胸が痛む。それは、母が  
我が家で、病氣療養(臍臓の癌)で寝ていた時のことだった。小生は、  
祭りに出るため、浴衣を着て、母の枕元を通ろうとした。そのとき、  
母が「今日はお祭りに行かないで」、と私の浴衣の裾をにぎり、私に  
言ったのだ。今でもその顔が思い出され、忘れられない。何故その日、  
一日ぐらい母の言葉を聞いてやれなかったのか。四十年経っても  
後悔している。母はその数日後に他界してしまった。本当に親不孝者  
だった。今でも涙が出る。母は、私に何を話したかったか。母は、決して  
弱みをみせない人で、痛い、苦しいは一度も言わない人だった。  
三月十日の、東京大空襲の、火災の中。私の名前を叫びながら、火傷を  
しながらも、私を、探しまわった母。母の姿を思うと、母の手でも、  
さすってやれば良かった、また母と、話してもしてやればよかった、と  
何年経っても後悔している。特に自分が病弱になるとひとときを感じる。